

講義名	NPO論					授業形態	
担当教員	森脇 丈子	開講期・曜日・時限	前期 月曜日 4 時限				
		単位数	2	履修開始年次	2 年生	ナンバリング・コード	ECN265

主題と概要
特定非営利活動促進法が成立（1998年）して25年以上が経過し、非営利組織の存在は市民生活の多くの分野に浸透してきています。また、行政（国、地方自治体）や企業との協働といった形もあちこちで見られるようになってきています。 非営利の組織は、学校や福祉、街づくりといった分野にとどまらず、環境や国際協力、文化・芸術の分野にも存在しています。これらの組織は民間企業や行政では取り組めない領域をカバーし、市民の多種多様なニーズに応えるサービスを創りだしてきており、注目されています。とりわけ、急速な高齢化と人口減少が進む日本社会では、社会における相互の協力や協働がいままで以上に求められているともいえます。 この授業では、国内的もしくは国際的に活躍するNPOの具体的な活動をとりあげながら、NPOの役割と実際の成果、現状での課題と今後の発展可能性などについて、考えていきます。また、社会的企業についても紹介していきます。 また、毎回の講義の中で受講生と質疑や議論をおこないます。

到達目標
1. 非営利組織にはさまざまな形があることを理解できる。 2. 非営利組織と企業との違いについて理解できる。 3. 非営利組織の運営（活動内容、資金、規模など）と現状での課題について理解できる。 4. 非営利組織の今後の発展可能性について考え、理解できる。

提出課題
課題はありません。毎回の授業で、予習と復習を出します（提出の必要なし）。なお、毎回の予習と復習に取り組む受講生は発言得点が高く、かつ、単位修得率も高い傾向にあります。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法
授業開始時に、前回授業に関して出された質問や意見についてコメントをします。

評価の基準
1. 「授業中の発言・態度」… 点数＝30点(1回の授業あたり2点×15回) 2. 定期試験 … 点数：70点 評価は、上記の「1＋2」の合計点で、評価をします。 合計60点以上が、合格です。59点以下は、不合格です。

履修にあたっての注意・助言他
・新聞・ニュース・雑誌等で社会の出来事や社会問題に関連する記事などについて、情報を日々収集しておいてください。 ・第1回目の授業ガイダンスに必ず出席し、授業の進め方、課題の提出方法、評価基準をしっかりと理解したうえで、受講してください。 ・授業では、かならずメモをとってください(PPT等のスライドによる撮影は禁止します)。 ・関連科目として、次の講義の受講を勧めます。 「生活倫理論」、「経済学入門」、「アミューズメント事業論」、「消費者問題論」

教科書				
・「使用しない」.				

参考図書				
.20代からはじめる社会貢献.	小暮真久	PHP新書	680	9784569794327
.ブルー・セクター 引き裂かれた世界をつなぐ起業家たちの物語.	ジャクリーン・ノヴォグラッツ	英治出版	2200	9784862760616
.前争地の看護師.	白川優子	小学館	1540	9784093897785

その他
・参考文献 ・渡辺由美子『子どもの貧困』2018年、水曜社 ・池上正樹『ルポ ひきこもり未満 レールから外れた人たち』2018年、集英社新書 ・大原悦子『フードバンクという挑戦 貧困と飢餓の間で』2008年、岩波書店 ・村上裕『良い物語民を救え！移動スーパードキュメントの挑戦』、2014年、緑風出版 ・米川正子(2010)『世界最悪の戦争「コンゴ」- 平和以外に何でもある国-』、創成社 ・池上彰編(2015)『日本の大課題 子どもの貧困・社会的養護の現場から考える』、ちくま新書 ・施路まさひり(2020)『誰がいまだかつて、働きがないと思うなよ。』、新潮社 ・藤原信(2022)『そのとき、日本は何人食べる？』、家の光協会

授業計画
1. 授業ガイダンス：授業の進め方、評価基準について。第1回授業：NPOとは 毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。次回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。 2. 給食活動のNPO：インド、食の支援：欧州 毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。次回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。 3. 「FTF」：食べることと支援する仕組み 毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。次回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。 4. アフリカの動物資源と貧困：便利な生活と資源確保の問題 毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。次回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。 5. 児童労働：大手企業の有名な商品と現場での労働 毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。次回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。 6. 国境なき医師団：NPOの活動の現場：医療 毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。次回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。 7. スポーツを通しての支援活動：地産地消 毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。次回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。 8. フェアトレード 毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。次回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。 9. フードバンク：NPOと行政 毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。次回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。 10. 農業と地域：地産地消と農業生産：農業労働 毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。次回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。 11. 社会的企業：株主の利益以外に第一におくべきものは？ 毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。次回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。 12. 「効果的な利他主義」とは何か：利益と支援とそうでない支援 毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。次回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。 13. 日本のNPOの現状：投資・寄付・ボランティア 毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。次回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。 14. 投資家の新しい動き：ESG投資 毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。次回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。 15. 非営利組織の課題と今後の発展の可能性：何をめざすが、行政や地域との関係の高き方、定期試験について

授業形態（アクティブ・ラーニング）			
☐	ア：PBL（課題解決型学習）	☐	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（A L 型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
社会構造や社会制度といった社会の仕組みや働き、地域社会における人びとの生活や文化などについて専門的な知識を有し、さまざまなことからの社会における役割や意義を理解し、考えることができる。社会の問題や人びとの考え方を捉えることができ、社会共創・産学連携、インターンシップなどで現実社会との接点を持ち、「社会人」として活躍できる基礎的な能力を身に付け、より良い社会を実現するための新しい社会、文化を創造することができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
授業中に多くの質問を出します。受講者は、自分の意見を述べてください。

実務経験の有無及び活用

備考
大学の提示にしたがひ、感染予防に努めてください。 第1回目の授業に必ず出席し、授業方法、成績評価方法について、しっかりと理解してください。 授業ではメモをとって、理解を深めてください(スライドによるPPT等の撮影は禁止します)。 出席者に、プリント、新聞記事等を適宜配布します。就職活動期による欠席者は、皆週の授業開始前に前回プリントを受け取ってください。 正当な理由のある欠席については、欠席後10日以内に連絡をしてください。この期間を過ぎた申し出は受け付けません。 授業中の私語や教室への勝手な出入り、スマホ等電子機器の利用を禁止します。 授業態度の悪い人には、退室を求めることがあります。